



### エアフロー環気システム (壁排気タイプ)

形名 P-01CND4 (コントローラユニット) (天井取付専用)

### 据付説明書

販売店・工事店様用

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。この据付説明書とともに必ずお渡しください。エアフロー環気システム (壁排気タイプ) のしくみとシステム例は取扱説明書を参照してください。

- この製品は住宅用です。それ以外の用途 (業務用など) には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品は戸建住宅の24時間換気システムとしてご使用ください。
- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい設置が必要です。設置の前に、この据付説明書をよくお読みください。
- 据付け、天井・壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。間違った据付けは故障や事故の原因になります。
- お客様ご自身の据付けは故障や事故の原因となります。
- 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。(無資格者の電気工事は法律で禁止されています)
- パイプ用ファンとコントローラユニットの組み合わせは必ず下記表に従ってください。

コントローラユニット	センサー付パイプ用ファン (1台)	パイプ用ファン (9台まで)
P-01CND4	V-08PNDタイプまたは V-08PXNDタイプ	V-08PPD7-AF、V-08PPXD7-AF、V-08PPD8-AFまたは V-08PPXD8-AF

■V-08PNDタイプおよびV-08PXNDタイプとP-01CND4の接続には専用の信号線 (システム部材) が必要です。必要な長さに応じて用意してください。  
 ※専用の信号線：P-05SC (約5m)、P-10SC (約10m)、P-20SC (約20m)  
 ※専用の信号線：P-05SC (約5m)、P-10SC (約10m)、P-20SC (約20m)

## 1.安全のために必ず守ること

●読んだ取扱いをしたときに生じる危険とその程度を表で区分して説明しています。

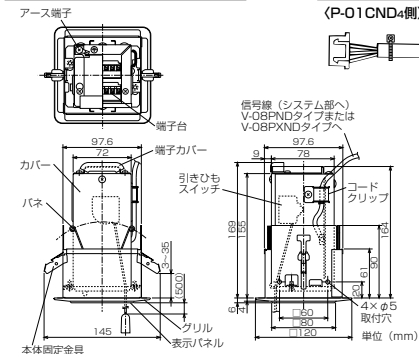
<b>警告</b>	読んだ取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	<b>注意</b>	読んだ取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流100V以外では使用しない 直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因。</li> <li>●改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。</li> <li>●浴室など湿気の多い所には、本体およびリモコンを据付けけない 感電・漏電の原因。</li> <li>●製品の水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因。</li> </ul>	禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高温となる場所や直接炎があつたり、油煙の多い場所には据付けけない 火災の原因。</li> <li>●水平据付け専用。壁には据付けけない 落下によるけがの原因。</li> <li>●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。</li> <li>●端子台カバーは電気工事後、必ず閉める ほこり、湿気などの浸入による、漏電、火災の原因。</li> <li>●設置後、長期使用しない場合は、必ずブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。</li> <li>●据付けの際は手袋を着用する けがの原因。</li> <li>●本体・部品の据付けはねじれ、変形がないように確実にを行う 落下によるけがの原因。</li> </ul>
分解禁止	●指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の原因。	指示に従う	●電気工事は電気設備の技術基準や内線規定に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
浴室取付禁止	●製品金属部がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接触しないように据付けける 接触していると漏電した場合、火災の原因。	指示に従う	●製品金属部がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接触しないように据付けける 接触していると漏電した場合、火災の原因。
水ぬれ禁止	●指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の原因。	指示に従う	●電気工事は電気設備の技術基準や内線規定に従って安全・確実にを行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
指示に従う	●電気工事は電気設備の技術基準や内線規定に従って安全・確実にを行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。	指示に従う	●製品金属部がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接触しないように据付けける 接触していると漏電した場合、火災の原因。
アース確認	●アースを確実に取付ける 故障や漏電した場合、感電の原因。	指示に従う	●アースを確実に取付ける 故障や漏電した場合、感電の原因。

## 2.据付け前のお願

- P-01CND4には指定以外の換気扇を接続しないでください。(故障の原因)
- P-01CND4は壁に据付けないでください。(落下によりけがの原因)
- 高温 (40℃以上) になるところに据付けないでください。(故障の原因)
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けないでください。(故障の原因)
- 効果的な換気を行うため給気口を設けてください。

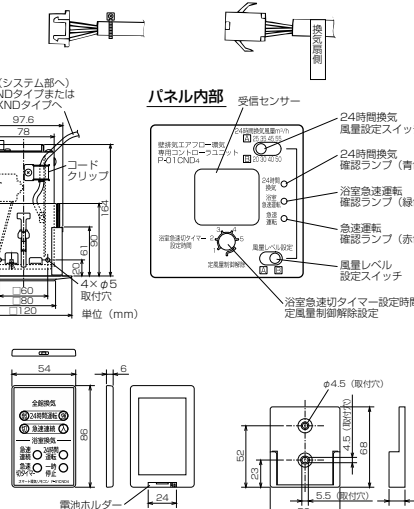
## 3.外形寸法図

コントローラ本体 (受信ユニット)



- 付属部品
- リモコン (送信ユニット) ……1個 (コイン型リチウム電池CR2025付属)
  - リモコンホルダー (樹脂製) ……1個
  - 木ねじ ……2本
  - リモコンシール1 ……1枚
  - リモコンシール2 ……1枚

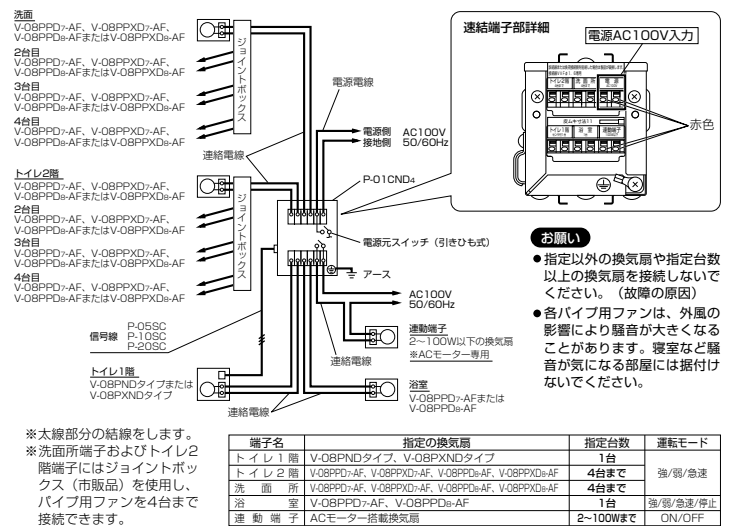
信号線 (別売) のコネクタ形状 (P-01CND4側) (V-08PNDタイプ・V-08PXNDタイプ側)



## 4.据付方法

■電気配線を間違えますとコントローラユニットが故障します。誤結線による故障の場合サービス費用 (交換部品代含む) は工事店様の負担となりますので、結線図を十分確認のうえ結線してください。

### ■結線例



### 1 据付け前の準備

1.受信範囲の確認をする。

- コントローラ本体は、左図の範囲内にリモコンが据付けられる位置に据付ける。
- 据付けのために天井裏寸法は180mm以上確保してください。

2.制御内容の各種設定を行う。

**24時間換気風量設定スイッチ**  
 センサー付パイプ用ファンの24時間強運転の風量を設定します。(工場出荷時は20m³/h設定)  
 24時間強設定 A: 25、35、45、55m³/h ※数値は目安です。  
 B: 20、30、40、50m³/h

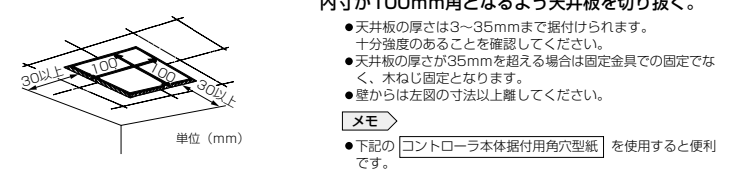
**メモ**

- 24時間換気時必要換気量に応じて設定できます。
- トイレ2階、洗面、浴室端子に接続されたパイプ用ファン (V-08PPD7-AF、V-08PPXD7-AF、V-08PPD8-AF、V-08PPXD8-AF) はセンサー付パイプ用ファン (V-08PNDタイプ、V-08PXNDタイプ) と連動して、ほぼ同等の風量で運転します。
- 24時間換気風量設定値を大きくすると、騒音が高くなる場合があります。

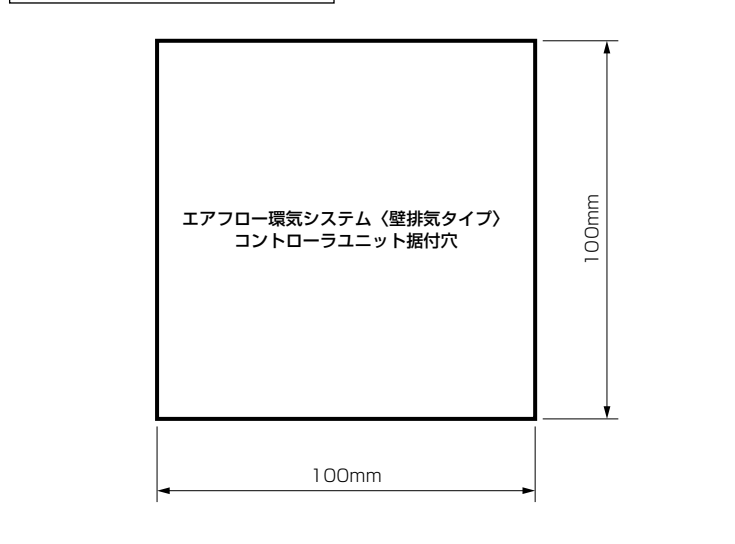
**浴室急速切タイマー設定時間つまみ**  
 浴室急速切タイマー時間と定風量制御解除を設定します

設定値	機能
1・2・3・4・5 (時間)	浴室換気扇の急速換気から24時間換気に切替えるまでの時間が設定できます。(工場出荷時は3時間設定)
定風量制御解除	「24時間換気風量m³/h設定スイッチ」で設定した固定風量を目標に運転します。 ※詳しくは取扱説明書の「使用方法」をご確認ください。本モードでは、浴室急速切タイマーが3時間に設定されます。

### 据付け穴の準備

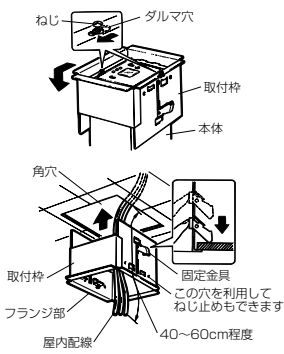


### コントローラ本体据付用角穴紙



## 4.据付方法 つづき

### 2 本体の据付け



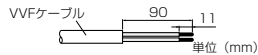
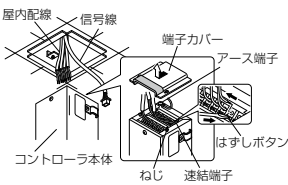
- ねじ2本をゆるめダルマ穴に対して本体をずらし、本体と取付枠と分解する。
- 屋内配線（連絡電線、電源電線、アース線、信号線）をメンテナンスができるよう角穴から室内側へ40cm（信号線は60cm）程度引き込む。

連絡電線、電源電線はVVVFケーブルφ1.6、2芯を使用してください。

- 取付枠を角穴にはめ込み、内側から固定金具をつまみ、フランジ部が天井板に密着するまで下げる。
  - 天井板が厚く固定金具を使用できない場合は内側から市販の木ねじ4本で固定する。

### 3 電気工事

電源電線の接続・電気工事などは、販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。



- 結線例を参照して結線する。
  - 連絡電線には、配線場所（浴室・洗面所・1階トイレなど）が分かるようにマシク等で明記する。（センサー付パイプファンファンの接続を間違えると正しく風量を検知できません）
  - VVFケーブルは図の寸法で外皮を取り除き、先端を11mm皮むきます。
  - 端子カバーを固定している2本のねじをゆるめて端子カバーをはしりボタンをはずし、結線例とコントローラ本体の表示を参照し、電源電線、連絡電線を連絡端子に確実に差し込む。

- 各換気扇との接続は、各据付説明書に従ってください。
- 電源電線は必ず「電源AC100V」連絡端子（赤色）に差し込んでください。端子を間違えると故障の原因になります。
- 換気扇側の接続が確実にされていることを再度確認してください。
- 連絡端子から接続線を抜くときは図のはしりボタンを押しながら接続線を抜く。

- 本体のアース端子を使用して必ずD種接地工事（アース工事）を行う。
  - アース線接続は単線直径1.6mmまたはより線1.25mm<sup>2</sup>をご使用ください。（圧着工具は日本圧着端子製YHT-2210をご使用ください）

- 結線が正しいか確認し、端子カバーを取付ける。

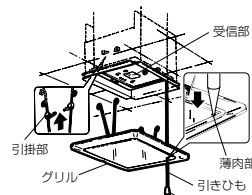
- コントローラ本体を据付ける。
  - コードクリップのねじをはしり、信号線のコードバンドが図の位置にくるようにし、コードクリップをねじで固定する。
  - 信号線コネクタをコントローラ本体側面に接続し、信号線にたるみがあることを確認する。
  - 屋内配線を線がこもらないようにまとめテープで数箇所束ね、天井裏へ押し込むようにして送り出す。
  - コントローラ本体を取付枠にはめ込み、ゆるめたねじ2本を締め付け固定する。

- お願い**
- 各種線を取付枠で傷付けないよう慎重に行ってください。
  - 本体据付け後、再度各種設定がお客様のご希望の設定であることを確認してください。（据付け前の準備参照）

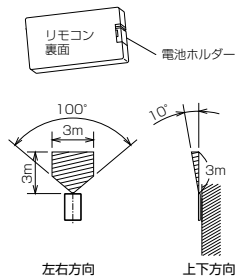
- グリルを取付ける。
  - グリルの薄内部に穴をあける。
  - 引きひもをグリルの穴とにぎりの穴に通して好みの長さに切り、にぎりがはずれないように引きひもの先端に結び目を作ります。
  - グリルの穴を引きひもの位置に合わせ、グリルの2つのバネをつかみ、コントローラ本体の引掛部に差し込む。

#### 引きひもが気になる場合

- にぎりを付けずに引きひものみグリル内に収納してください。
- 引きひもで受信部を隠さないようにしてください。



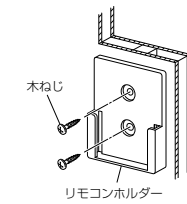
## 〈リモコン（付属部品）の据付方法〉



- 電池保護シートを取り除く
  - リモコン裏面の電池ホルダー部の電池保護シートを引き抜いてください。
- 送信範囲の確認
  - コントローラユニット(P-01CND4)が左図の送信範囲内になるようにリモコンを据付けてください。
  - 電気ドライバーで増し締めをしないでください。（破損の原因）
  - 壁がコンクリートやタイル張りの場合は両面テープや接着剤など工事店様にてご用意ください。
  - 次のところでリモコンが操作できないことがあります。本体受信部とリモコンの間に障害物があるところ。インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用しているところ。本体の受信部に直射日光等の強い光が当たるところ。テレビの近くなど電磁波の影響を受けやすいところ。
- リモコンホルダーを壁に据付ける
  - 取付穴の2か所を付属の木ねじで下地材のある位置へ固定する。（石膏ボードの場合も下地材に固定してください）
- リモコンホルダーにリモコンを挿入する

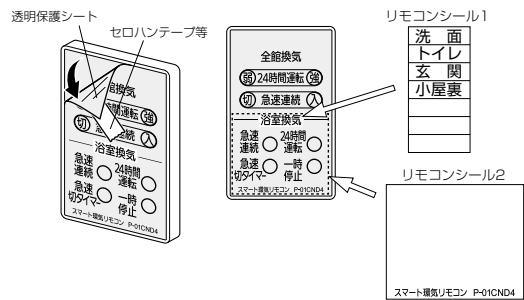
#### お願い

- リモコンは直射日光の当たる場所など、高温になる場所には設置しないでください。（本体の変形や、電池の液漏れなど故障の原因）
- 電気ドライバーで増し締めをしないでください。（破損の原因）
- 壁がコンクリートやタイル張りの場合は両面テープや接着剤など工事店様にてご用意ください。
- 次のところでリモコンが操作できないことがあります。本体受信部とリモコンの間に障害物があるところ。インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用しているところ。本体の受信部に直射日光等の強い光が当たるところ。テレビの近くなど電磁波の影響を受けやすいところ。



## 〈リモコンシールの貼り付け〉

- 浴室端子台に接続されたパイプファンが浴室以外の部屋に据付けられた場合は、リモコンの透明保護シールをはかき、同梱のリモコンシール1を下図に示す部分に貼ってください。 ※シールに据付けた部屋名がない場合は白紙の部分に部屋名を書いてください。
- 浴室の換気にもシステムをご使用にならない場合は、リモコンの透明保護シールをはかき、同梱のリモコンシール2を下図に示す部分に貼ってください。



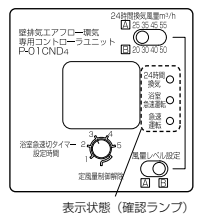
## 5.据付け後の確認

据付け後、試運転の前にチェック表に従って確認してください。  
●不具合があった場合は必ず直してください。（機能が発揮されないばかりか、安全が確保できません）

チェック項目	不具合の対策	チェック
電源はAC100Vですか？	AC100Vにする。	
配線は結線図通りに正しく配線されていますか？	結線図通りに配線する。	
接続された換気扇の台数は指定台数以内ですか？	換気扇を指定台数以内にする。	
信号線は確実に接続されていますか？	確実に接続する。	
天井とグリル、取付枠と隙間はありますか？	グリル、取付枠、本体を正しく取付ける。	
リモコンホルダーは正しい位置に据付けたか？	正しい位置に据付ける。	
引きひも等で受信部を隠していませんか？	引きひも等の障害物を取り除く。	
リモコンの電池保護シートを取り除きましたか？	リモコンの電池保護シートを取り除く。	

## 6.試運転

- 電源を入れる
  - 配線に間違いがないか再確認し、ブレーカーを入れる。
- 運転状態を確認する（取扱説明書も参考にして、お客様立ち合いのもとでご確認ください）
  - 異常がある場合は取扱説明書の「修理を依頼する前に」を参照して処置に従ってください。



○ 点灯、◐ ゆっくり点滅（2秒間隔）、☀️ 速い点滅（0.5秒間隔）、● 消灯

対 処	表示状態（確認ランプ）			換気扇の状態			チェック
	24時間換気（青色）	浴室急速運転（緑色）	急速運転（赤色）	トイレ	浴室	洗面所	
引きひもスイッチを引き電源を入れてください。	●	●	●	停止			—
少しお待ちください。（2秒程度）	●	●	●	初期設定中			—
リモコン操作により各運転モードが切換わることを確認してください。 ※操作方法は取扱説明書の「使用方法」を参考にしてください。	○	●	●	24時間換気			
急速運転表示（赤色）が速い点滅をした場合、次の内容を確認ください。 ①信号線がはずれていることが考えられます。コントローラとセンサー付パイプファン両方の接続を確認してください。 ②給気不足になっていることが考えられます。給気口が設けられているか、もしくは塞がっていないか確認してください。	○	●	☀️	エラー			—

パイプファンの据付け状態や異常音がないことを確認する

#### お客様への説明

- 別冊の取扱説明書に従って正しい使い方をお客様へご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。またブレーカーの位置、お手入れのしかたをご説明ください。
- この「据付説明書」は、別冊の「取扱説明書」ともにお客様へお渡しください。

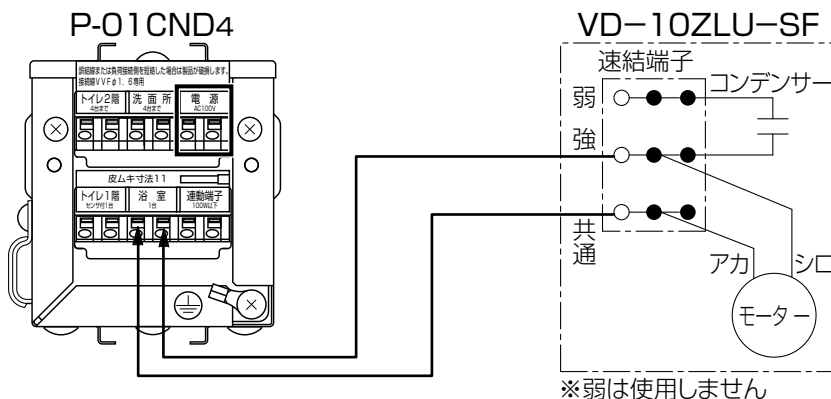
三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

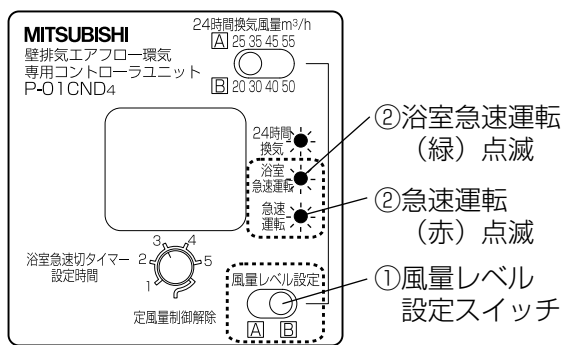
# 浴室換気扇としてダクト用換気扇を接続する場合

浴室端子にダクト用換気扇 (VD-10ZLU-SF)を接続する場合、浴室換気扇の接続タイプを変更してください。  
 ※浴室端子にパイプ用ファンを接続する場合は、下記設定は不要です。

## ■結線図



## ■接続タイプの変更方法



### 1. 浴室換気扇設定モードに切替える

①運転状態で風量レベル設定スイッチのA・Bを5秒以内に4回以上切替える。

例：初期設定がBの場合  
 B→A→B→A→B→A→  
 4回

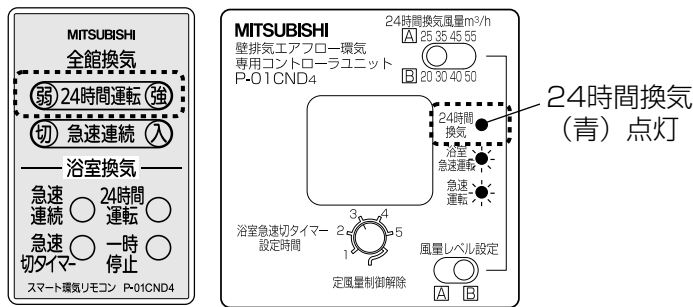
②浴室急速運転 (緑) と急速運転 (赤) が0.5秒間隔で点滅して、浴室換気扇設定モードとなります。  
 ※設定モード中、換気扇は停止します

### 2. 浴室換気扇の接続タイプを変更する

・リモコンの24時間運転「強」ボタンを押す。  
 24時間換気 (青) が点灯に変わります。

浴室換気扇のタイプ	リモコン24時間運転スイッチ	24時間換気確認ランプ青	備考
ダクト用換気扇	強	● 点灯	
パイプ用ファン	弱	☀ 点滅 (0.5秒間隔)	工場出荷時

## リモコン



### メモ

浴室端子にダクト用換気扇を接続した場合、接続タイプをダクト用換気扇へ変更しないと風量が不足することがあります。

### 3. 浴室換気扇設定モードの終了

・浴室換気扇設定モードに切替えてから30秒後に自動で通常の運転モード (24時間運転「強」) に戻ります

※24時間換気 (青) のみ点灯

